

音楽でストレス軽減、笑顔が人に与える影響…

加古川南高校(加古川市加古川町友沢)で23日、3年生約230人が論文を発表する「課題研究発表会」があった。教室や講義棟な



興味関心もとに研究、成果発表

加古川南高3年230人、6千字の論文

2年間続けてきた研究の集大成として課題研究発表会に臨んだ3年生＝加古川市加古川町友沢

ど18カ所に分かれて、1、2年生に対して「音楽でストレスを軽減する方法」「アレルギーがある人でも食べられるお菓子」など、自分たちの興味関心から研究した成果を披露した。

総合学科の同校は、1年の冬休み前に自分が研究したいテーマを考える。2、3年の「総合的な探究の時間」で文献調査やフィールドワーク、実験などを通じて結論を導き出し、6千字の論文を仕上げる。

講義棟では代表の10人が発表し、外部講師から講評を受けた。西川心結さん(17)は「笑顔が人間に与える影響」と題し、実験やアンケートを通じて「笑顔が健康面や精神面で人に好影響を与える」と結論つけた。関西福祉大の三木澄代教授は調査方法の課題を指摘しつつ「考察に必要な流れで、手間暇を掛けてまとめられていた」と講評した。西川さんは「人前で発表するのは緊張した。笑顔を意識すると幸せになれるので、笑顔あふれる人生を歩みたい」と話した。

(中川 恵)